

令和5年度温排水影響調査計画(案)

令和5年2月7日

佐賀県玄海水産振興センター

令和5年度調査計画(案)

項目	調査月	内容	調査回数	点数	観測層	調査方法および使用機器
拡散調査	夏季 冬季	水温 塩分	2	74	水温 0.3(表層),1,2, 3,4,5,7,10,15,20m 塩分 0.3(表層)m	・水温、塩分:多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD102)
流動調査	夏季	流向 流速	1	5	0.3(表層),5,10, B-1(底層)m	・流向・流速計による現場測定 (JFEアドバンテック社 AEM213-D)
水質調査	夏季 冬季	水温 pH DO 濁度 クロロフィル-a	2	5	0.3(表層),5,10, B-1(底層)m	・ナンセン転倒採水器による採水 ・水温、DO、濁度:多項目水質計による現場測定 (JFEアドバンテック社 ASTD102) ・pH:卓上測定器による測定 (TOA-DKK社 卓上pH計) ・クロロフィル-a:蛍光法
底質・底生生物調査	夏季	粒度組成 COD ベントス	1	10	海底土	・スミス・マッキンタイヤ採泥器による採泥 ・粒度組成:ふるい分け法、沈殿分析法 ・COD:アルカリ法 ・ベントス:マクロベントスについて同定・計数
付着生物調査	夏季 冬季	動物 植物	2	10	潮間帯	・ベルトトランセクト法 岸側各点から海方向にメジャーを伸ばし、1.5m毎に 50cm枠中の種類、数量(被度)を調査

※付着生物調査は民間業者へ委託

※夏季(7~9月)、冬季(1~3月)

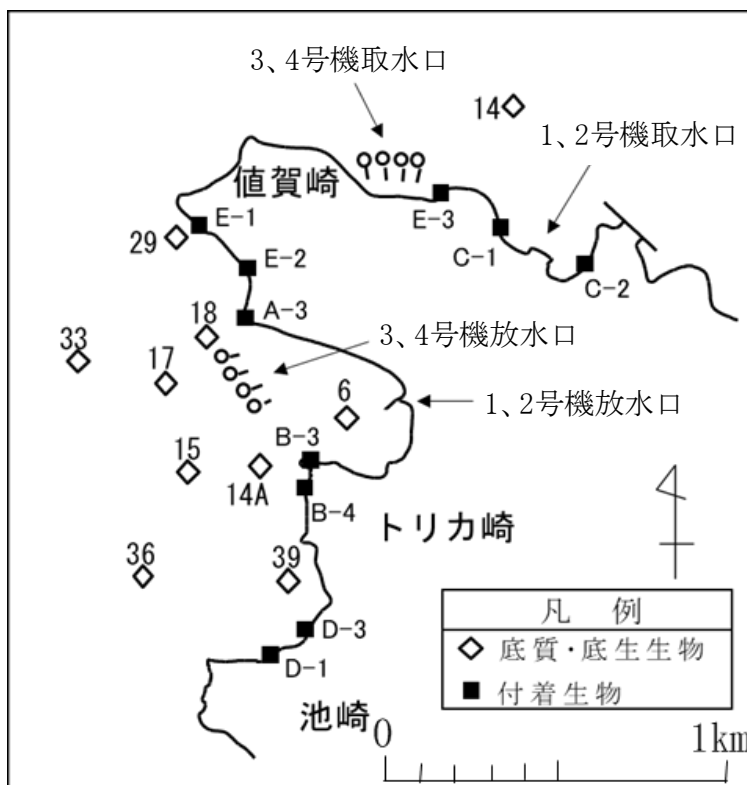


図1 調査点-1(底質・底生生物調査、付着生物調査)

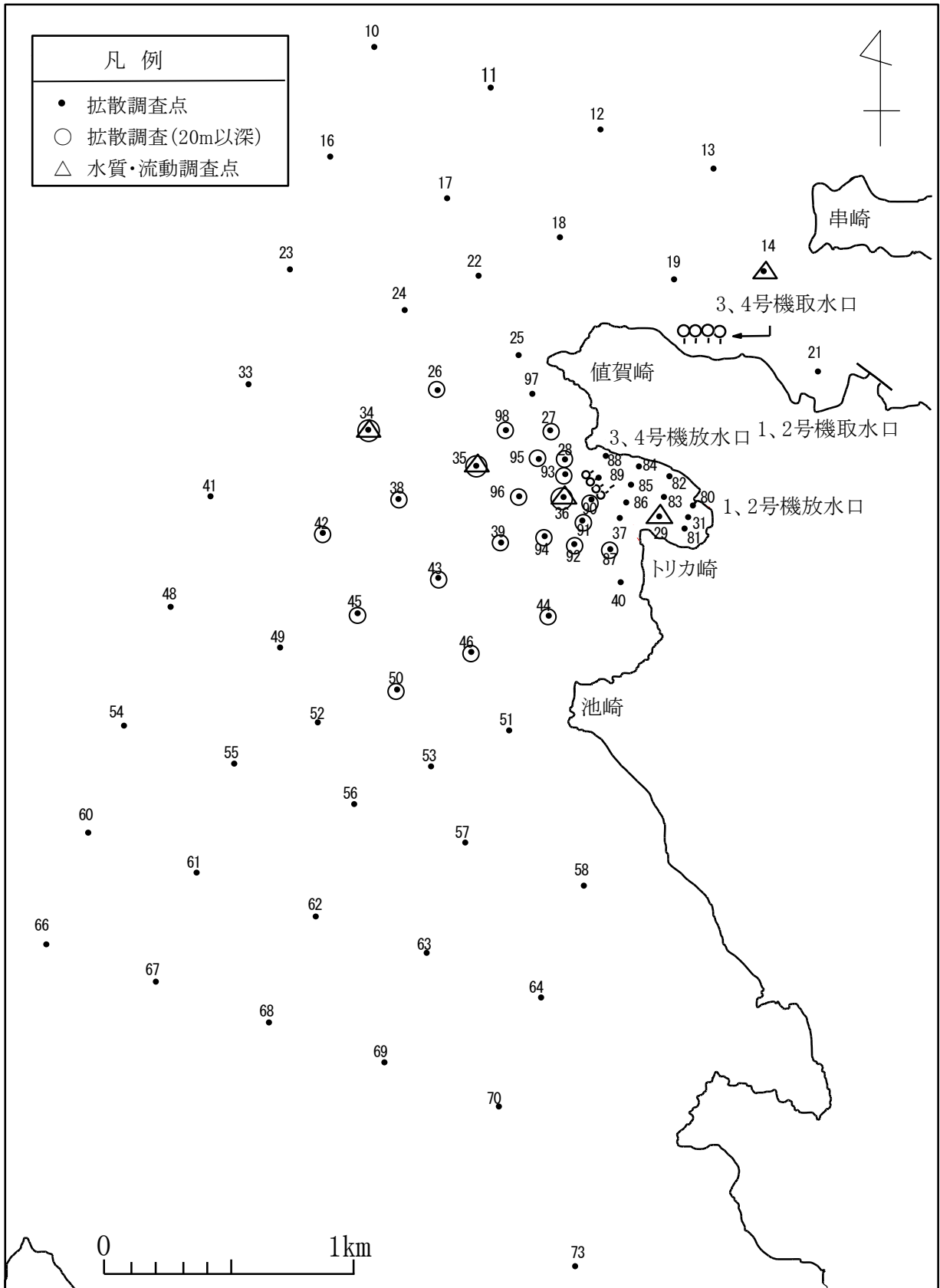


図2 調査点-2 (拡散調査、流動調査、水質調査)